



光受寺通信

H.25年 5月1日発行
発行者 光受寺
<http://koujuuji.com/>

「念仏の生まれる生活を共に」をテーマとして掲げ、多くのおかげさまを頂きながら、午前落慶奉告法要、午後宗祖親鸞聖人750回御遠忌を謹んで勤修させていただきました。

早朝から緊張感が漂う中、最後の打ち合わせ会議が行われ、準備も万端調べられての始まりとなりとなりました。

ある人の曰く「ミュージカル」の舞台を見ているようだったと。すべての人が見事に連携され、テキパキと持ち場の仕事をこなしていらした姿が、どうやらそんな感じに受け止められたらしいのです。

ともあれ、精いっぱいのお荘厳のもと、式次第に従っての一つひとつの行事が滞りなく執行されたことは、門徒一同の心の結集の賜物だったと、慶ばずにはいけないのです。

親鸞聖人750回忌御遠忌。今ここに一つの形となって顕された御恩報謝の姿は、次代への心の支えとなっていくだろうことを、予感させるには十分なものだったと信じています。

かくなる上においては、常に自身教人信の誠を尽くし、改めて同朋社会の顕現に努めることへの意を強くするものであります。

気づきの生まれる生活。そこには必然「感謝」が生まれ、「おかげさま」が生まれ、「慈しみ」が生まれ、「新たな心の眼」が開かれてくると思うのです。一人一人が人間として生まれたことの喜びを心から実感し、「なんまんだぶつ」の声として唱えられるように、共になりたいものだと思ふものであります。

親鸞聖人の七百五十回御遠忌を機縁として今一度私たちの生き方を振り返りながら、気づかせていただける人生を歩んでいきたいものだと思ふのであります。

合掌

テーマについて



お荘厳を済ませ、調べられた尊前。
掲げられたテーマが心に留まることを願って。

写真で振り返る御遠忌の一日

準備完了です

これまでが大変でした。



受付所（上）と案内所（下）



新築唐破風



最終打ち合わせ
会議と接待風景



稚児衣装貸出所



新築山門と
新調された五色幕





いよいよ始まりです



落慶奉告法要

表白文拝読

感謝状授与式



お抹茶の準備



華の4人組



光受寺合唱団による仏教讃歌（音楽法要）披露



お斎風景

私なんか、と消極的に始めた人もいましたが、いつしかみんなこんな感じに。ホント素晴らしかったですよ！お世辞抜き。

若さは挑戦だと思えました。平均年齢いくつだと思います？それは秘密です。



臼井家にて



三輪家にて



少々お疲れ気味となり。稚児集合場所

親鸞聖人750回御遠忌法要



雨が何よりも心配されましたが、こんなにも良い天気。住職の心がけの良さか？も。



かわい？

役稚児さんたちです。頑張ってくれました。みんなかわいい！

若院も懸命に声を出して頑張っています。



終わりの挨拶と後片付け。住職涙??

